

令和7年度 エゾシカ捕獲事業について (令和8年2月24日時点経過)

1. 前年度までの捕獲施設設置状況及び捕獲状況

令和6年度(冬季)は罠ワナ7基を3月末まで運用し、200頭捕獲した。これにより平成16年度からの21年間の捕獲総数は4,959頭となった。また、

しかしながら、シカの出没エリアをワナのみで対応するには、ワナ数が不足しているとの判断のもと、樹木の食害防止対策として6箇所の餌場を設定し給餌も併せて実施した。これまでも同様の傾向ではあるが、餌場により多くのシカが集まる傾向がみられた。



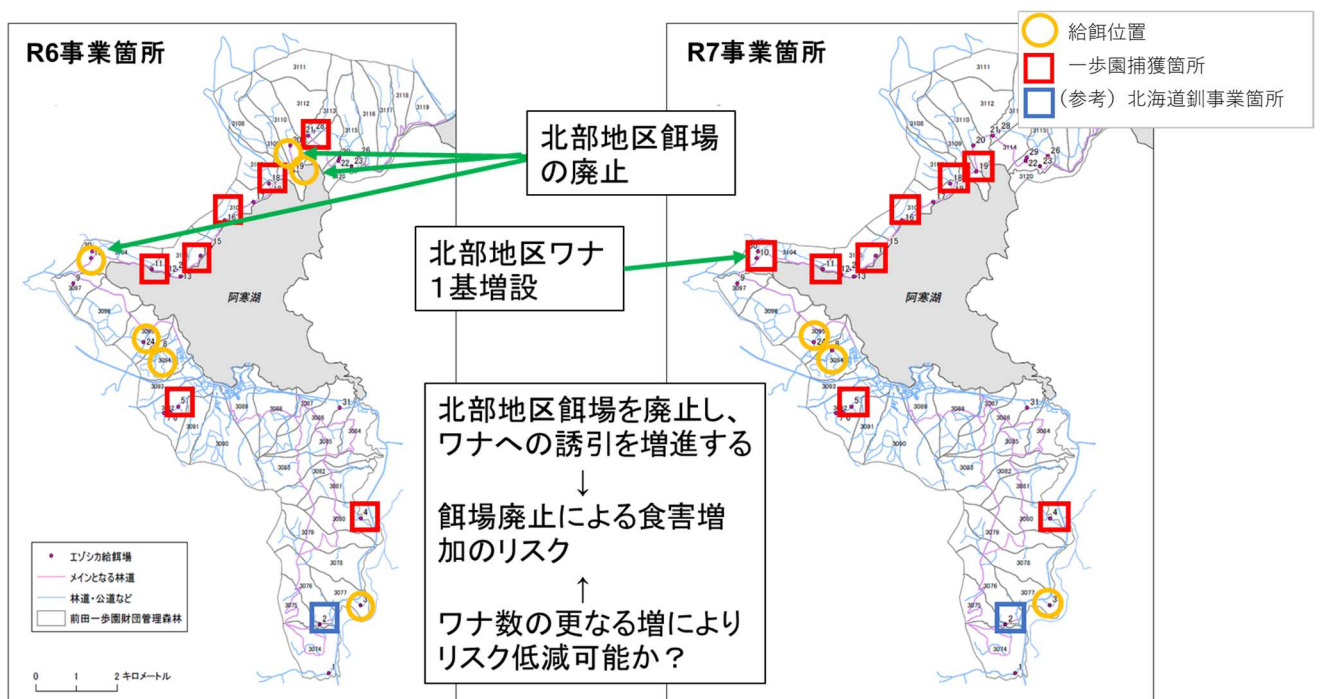
〈写真1. ワナ付近の誘引状況〉
(数頭から十頭程度誘引)



〈写真2. 餌場のシカ誘引状況〉
(数十頭等誘引)

2. 令和7年度捕獲の取り組み状況

令和7年度は、北部地域にワナを1基増設し、ワナのみでの対策に十分な基数とし、試験的に餌場を廃止し、ワナ内に侵入しなければ餌を摂食できないようにすることにより、ワナ内への誘引効果を高め、捕獲頭数の増加を目指し捕獲事業を実施している。



〈図1. R6年度及びR7年度対策実施位置図〉

3. 令和7年度ここまでの取り組み結果

令和7年度は、冬期にエゾシカ対策と並行して実施している間伐の事業量を少なくし、例年週2日程度の頻度で実施していた捕獲の回数を増やし、週4日捕獲実施を基本とすることとした。

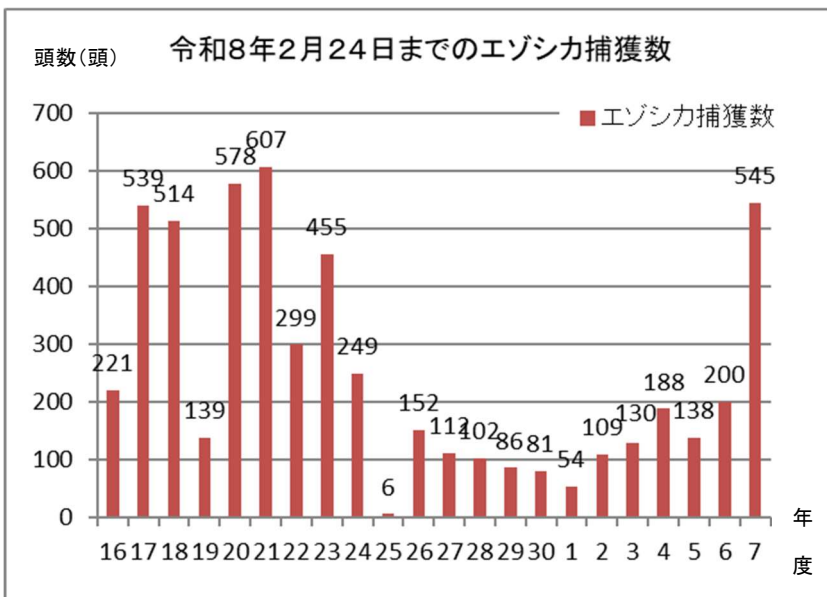
令和8年1月13日(火)より捕獲を実施し、2月24日(火)までに、19日間捕獲を実施した。



<写真3. (2月9日、27頭) 捕獲時ワナ内状況>

前年度との同条件による比較は困難であるが、餌場廃止によるワナ内の誘引効果向上が感じられ、2月24日(火)までにワナ8基で545頭の捕獲に成功している。

昨年同時期の捕獲数は、78頭(捕獲日数10日間)であり現時点で6.98倍の頭数であり、昨年の19日間捕獲実施時の捕獲頭数である179頭の3.04倍の頭数である。



これまでの当財団管理森林内で最も多いエゾシカ捕獲数は、平成21(2009)年度の607頭であったが、この年度を上回るペースで本年度は捕獲を実施している。

来年度は、本年度の結果をふまえ中部地域において給餌のみ実施している箇所へワナを移設し、対策を実施予定である。

<表1. 年度別ワナ捕獲数>